



イタリアンをベースにした創作料理。デザートやカフェの利用も可。

cafe & restrant GIRINO (ジリーノ)
住所：神奈川県藤沢市片瀬海岸 2-7-12
営業時間：9:00～20:00 定休日：月曜（月曜祝日の場合は月曜
営業で翌日休店）、第2火曜 電話番号：0466-52-6850



笑顔で見送ってくれました。シェフの玉生宗弘さんと奥様の純子さん。いつも変わらぬ柔らかな空気感をもつお二人。

江ノ島の邸宅カフェ、 GIRINO ジリーノ



観光地江ノ島のすぐそば。大きな庭のあるお屋敷です。

江ノ島を間近にした
閑静な住宅街。片瀬江
ノ島駅を降りて数分。
立派な松のそびえる広
いお庭付きの邸宅をリ
ノベーションした、ソ
フテリアOB、玉生く
んのお店ジリーノがあ
ります。先月の東京出
張の折、念願かなって
訪ねてきました。

和風のしつらえの白
壁に「GIRINO」のロゴ
が良く似合います。つ
くばいと水鉢をながめ
ながら玄関を入ると、
奥様の純子さんが出迎
えてくれました。入っ
てすぐ脇に厨房があり
ました。のぞいてみる
と、そこには一人で料
理を切り盛りする玉生
くんの姿が。かつての
ソフテリアにタイムス
リップしたような錯覚
を覚えました。

午後1時半過ぎだと
いうのに、20席ある店
内はほぼ満席。地元
のお客様に愛され、繁
盛している様子が、嬉
しさがこみ上げます。

席に着くと、窓にか
かるスクリーン越しに、
庭が一望できます。池
の草に止まるアカカ
ネを眺めていると心に
さわやかな風が吹き抜
けふとと肩の力が抜け
ました。

ランチコースは19
00円から。久しぶり

に味わう彼の料理。素材
の味を存分に引き立てる
優しい味付け。そう、そう、
まさに玉生くんの味。

昨年まで三軒隣の小さ
りな一軒家で開業してい
たのですが、かねてより
眺め憧れていた広い庭の
あるこの邸宅を偶然借り
ることができたというま
す。荒れていた庭にも手
を入れ、室内をセンス良
くリフォームし、和洋の
統合された彼の感性にと
ても似合うお店となつて
います。

まほろば農園にもいた熊
木君のハケ岳の農園から無
農薬の野菜を取寄せていま
す。食材にはこだわがあ
えて云々表示しています

そんな彼らの想いと夢と
優しさがたつぷり詰まった
GIRINO。きっとこれから
ますます繁盛する事でしょ
う。皆さまもぜひ、彼らの
笑顔に会いにお出かけ下さ
い。

(TEXT & Photo 編集部・島田 浩)



アンティークとモダンが融合した、満洒な店内。奥にかかる大きな絵は玉生くんのお爺さん。



365 日さんでは業務用エリクサーをご使用頂いている

エリクサー製造を委託 フラックス



365 日
住所：東京都渋谷区富ヶ谷 1-6-12 Tel 03-6804-7357
Open 7:00 - Close 19:00
代々木公園駅 1 番出口から徒歩 1 分
代々木八幡駅 南口から徒歩 1 分

365 日 カリスマパンシェフの店



2000 年、渡仏。2 つ星「ジャマン」1 つ星「ベトロシアン」を経て 2002 年に帰国。帰国後、数件のパティスリーやブーランジュリなどでシェフを務める。



最後の訪問先は、エリク
サーを製造委託している横
浜のフラックスさん。エリ
クサーについてのサポ
ート等打ち合わせしてきま
した。いつもは社長や事務
が開発打ち合わせに行くこ
が多かったため、ようやく
ご挨拶に伺うことができました。

今、水素水サーバーが
ヒットしており、手狭に
なったため今夏移転。業績
も好調の様子。ますますの
発展を祈りつつ、帰路に着
きました。

もっちりとした食感にふ
くよかな粉の味わいが楽し
めるパンたちは、さすがと
いう他ありません。

都内の便利な場所にあ
りますので、ぜひ足を運ん
でみてください。

今回の東京出張は、業務
用のエリクサーハイパーを
ご導入いただいている東京
のパン屋さん、365 日さ
んを訪ねるのもひとつの
目的でした。

オーナーのパンシェフ杉
窪章匡さんは、業界ではカ
リスマ的存在。輪島塗職人
の血を引く職人気質の方
で、すべての素材を徹底的
に吟味。当然水にも強くこ
だわり、エリクサーに着目
頂きました。ご自身の店舗
の他、プロデュースを手が
けたお店も含め 3 台ご導入
いただいています。

地下鉄代々木公園駅を出
てすぐの商店街中小路にあ
る小さな店舗にもかかわらず、
ひっきりなしにお客様
が訪れます。

昔のお店屋さんのような
引き戸をガラガラと開けて
入ってみると、間接照明に
照らされ、まるでフティッ
クのような装いで、丁寧に
作られたパンが並んでいま
した。



フラックスの松木清悟社長と磯野専務。今後とも永きお付き合いを。



担当の東川さん（右）。



ショーケースの後ろのコーナーにはカフェスペースも。



札幌出身のスタッフ和田さん。